

上部消化管内視鏡検査及び病理組織検査の説明・同意書

検査予定日

時 分

(時間が前後することがあります)

1・内視鏡検査の必要性について

腹痛や貧血などの原因をしらべ潰瘍、ポリープ、腫瘍などを診断するために必要な検査です。内視鏡検査は比較的安全な検査で、内視鏡検査医が行いますのでご安心ください。

2・検査、処置の方法

口や鼻から内視鏡を挿入し食道、胃、十二指腸を観察します。検査医が必要と判断した場合、生検(病理組織検査)をさせていただきます。生検とは消化管の粘膜のごく一部をつかみ取り病変の良性、悪性の診断をする検査です。(生検で痛みは感じません)※この場合保険診療となります、保険の負担割合にもよりますが、約4000~7000円程度の自己負担額が発生します。

※経鼻内視鏡の場合、鼻腔が狭くて挿入できない場合は経口挿入に変更する可能性があります。また、2次検査などの精密検査には向かない場合があるので経口内視鏡をお勧めすることがあります。

※出血がみられた場合には止血操作(内視鏡的止血術)を行います。

3・検査、処置に伴う合併症

合併症には穿孔、出血、ショックなどがあります。

穿孔	何らかの原因により穿孔が起きることがあります。その場合緊急手術が必要となることがあります。
出血	検査や生検で血管を傷つけた場合、出血することがあり、稀に輸血を必要とすることもあります。また、経鼻内視鏡では鼻出血がおこる可能性があります。抗凝固薬や抗血小板薬を服用されている方は出血の危険性が高くなりますので申し出てください。
ショック	鼻腔咽頭麻酔に使用する薬でショックを起こす場合があります。キシロカインなど麻酔の薬にアレルギーのある方、気分が悪くなったことがある方は申し出てください。

日本消化器内視鏡学会の全国集計(2010年)では合併症の頻度は0.007%(1万4千人に1人)、死亡率0.0002%(50万人に1人)でした。万一合併症が起きた場合、入院や緊急の処置、手術が必要になることがあります。この場合も最善の処置をいたします。

以上の説明を理解され検査の必要性と合併症について十分にご理解頂き、検査に同意して頂ければ下記の同意書にご署名をお願い致します。

同 意 書

医療法人社団 昂会 湖東記念病院 病院長殿

上記の説明を受け、その内容を了解しましたので、上部消化管内視鏡検査を受けることに同意します。尚、検査、処置、治療に関し医師が拡大医療行為を必要と判断した場合、その行為に対し同意し異議は申し立てません。

令和 年 月 日

受診者氏名

代理人氏名

(続柄)